

8 消防費

1 消防費 1 常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P. 353

0501 消防総務事務に要する経費 21,664,068 円 (20,525,084 円)

[その他 2,608,090 円 一財 19,055,978 円]

* 特財内訳

[手数料：危険物許認可手数料 276,800 円]

[手数料：コピー手数料 1,290 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,330,000 円]

○ 目的

各種災害や住民ニーズに的確かつ効果的に対応するため、消防行政事務の円滑な推進を図る。

○ 内容

各種災害の被害を軽減するため、災害対応用資機材等を更新し、消防サービスの向上に努めた。

- ・防火衣及び AED リース並びに災害対応用資機材の更新
- ・学校敷地内の屋外へ AED 収納ボックスを新規に設置

○ 効果

消防行政事務の適正な執行と併せて、効率的な消防活動を展開することができた。
また、学校施設を利用する市民の利便性が改善され、安全安心な環境が確保された。

[担当：消防本部 総務課] P. 355

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 161,225,293 円 (212,102,624 円)

[地方債 131,100,000 円 その他 9,534,000 円 一財 20,591,293 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 138,127,000 円×95%≒131,100,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 9,307,000 円]

[諸収入：いばらき指令センター基地局電気使用料 227,000 円]

○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の適正な管理運営を図る。

○ 内容

- ・消防庁舎施設の修繕及び庁舎設備の維持管理のため各種業務委託を行った。
- ・昭和 56 年 4 月に竣工した吉田消防署の大規模改修工事を行った。
- ・戸頭消防署及び吉田消防署の電話機入替工事を行った。

○ 効果

吉田消防署大規模改修工事及び電話機入替工事が計画期間内に完了した。また、各

種点検業務委託等により、庁舎をはじめ各設備を適正に維持管理することができ、防災拠点施設としての機能が確保され、職場環境の充実が図られた。

[担当：消防本部 警防課] P. 357

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,726,240 円 (99,000 円)

[国・県 2,725,000 円 一財 1,240 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,725,000 円]

○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の感染防止を図るとともに、分散勤務を可能とする無線 LAN を設置する。

○ 内容

- ・感染防止対策のため、各庁舎内に空気清浄機を設置した。
- ・防災拠点機能確保のため、無線 LAN ケーブル配線工事及び無線 LAN を設置した。

○ 効果

ウイルス除去機能を有する高機能な空気清浄機を設置し、職員間での感染拡大防止対策が図られた。

また、消防本部庁舎内に無線 LAN を設置したことで分散勤務が可能となり、業務が停止することなく進められた。

[担当：消防本部 総務課] P. 359

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 56,785,460 円 (46,559,460 円)

[地方債 35,000,000 円 その他 4,660 円 一財 21,780,800 円]

* 特財内訳

[市債：緊急防災・減災事業債 35,094,000 円×100%≒35,000,000 円]

[諸収入：いばらき指令センター設備保険料受入金 4,660 円]

○ 目的

県内 20 消防本部 (33 市町) による消防指令業務を共同運用することで、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現、広域的な無線ネットワークシステムによる通信の確保、高機能な消防指令システムと通信技術による業務の高度化などを図り、地域住民の安心・安全に万全を期する体制を構築する。

○ 内容

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金である。

- ・取手市分負担金 56,629,000 円

○ 効果

近年の大規模災害の頻発により消防防災力の強化が求められている状況のなか、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現及び高機能な通信システムによる消防業務の高度化が図られた。

1 消防費 2 救急業務費

[担当：消防本部 警防課] P.361

0501 救急業務に要する経費 6,123,021円(6,965,053円)

[国・県 258,940円 一財 5,864,081円]

* 特財内訳

[県補：消防・救急体制整備費補助金(東京オリンピック競技大会) 258,940円]

○ 目的

救急資機材及び医薬材料等の適正な維持管理と的確な救急業務の遂行を図る。また、救急隊員の感染防止のため、予防接種を実施する。

○ 内容

救急業務で必要とする感染防止衣等の消耗品及びアドレナリン、ブドウ糖等の医薬材料費を購入した。また、感染性医療廃棄物の適正処理を行った。

○ 効果

救急事案に対して、救急資機材等を有効に活用し、傷病者を迅速かつ安全に医療機関へ搬送することができた。

[担当：消防本部 警防課] P.361

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 12,719,185円(7,604,110円)

[国・県 11,273,000円 その他 496,375円 一財 949,810円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 11,273,000円]

[諸収入：感染症医療廃棄物処理費 496,375円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症患者の移送業務及び疑似患者等の救急搬送業務を行う救急隊員の感染防止を図る。

○ 内容

救急活動に必要な感染防止衣等の消耗品、マイクロプラズマ殺菌消臭ロッカー及び救急車用オゾン発生装置を購入し、二次感染防止を図った。

- ・令和3年中出動件数 ()内は、令和2年中の件数
移送件数 26件(16件)

○ 効果

救急隊員の感染防止対策が図られた。また、救急車内にオゾンを発生させ、感染リスクを軽減することができた。

1 消防費 3 非常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P.363

2001 消防団員に要する経費 42,098,892円(41,161,330円)

[その他 9,694,000円 一財 32,404,892円]

* 特財内訳

[諸収入：消防団員退職報償金受入金 9,573,000 円]

[諸収入：消防団福祉共済返戻金 121,000 円]

○ 目的

消防団員の処遇及び福利厚生の実を図る。

○ 内容

消防団員の報酬や手当等をはじめ、消防団員退職報償金及び消防団員等公務災害補償共済負担金などの各種負担金等である。

・消防団員の定数 552 人 実数 482 人 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

○ 効果

消防団の諸活動をはじめ、地域における自主活動にも積極的に参加する等、消防団員の地域に密着した活動がさらに定着した。

[担当：消防本部 総務課] P.363

2101 消防団の運営に要する経費 34,194,327 円 (52,777,560 円)

[地方債 19,400,000 円 一財 14,794,327 円]

* 特財内訳

[市債：消防防災設備整備事業債 20,484,200 円 $\times 1/2 \times 100\% \doteq 10,200,000$ 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(20,484,200 円 - 10,200,000 円) $\times 90\% \doteq 9,200,000$ 円]

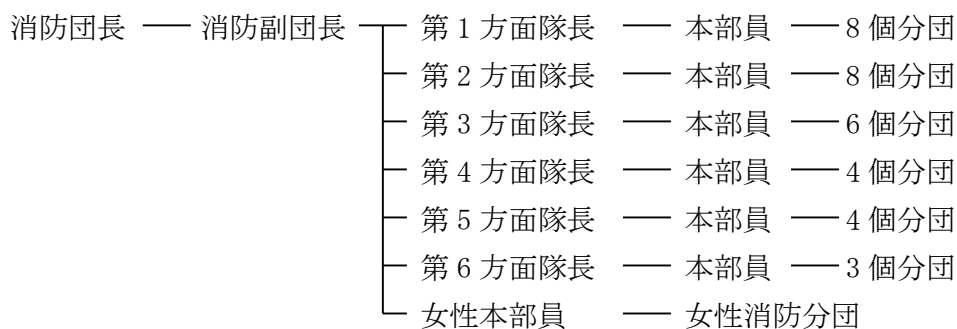
○ 目的

消防団の充実した運営と消防団施設等の整備及び適正な維持管理を図る。

○ 内容

第 1 分団ポンプ自動車の更新整備など、消防団施設等の適正な維持管理に努めた。

令和 3 年度の消防団組織は、下図のとおりである。



○ 効果

消防団施設等の更新整備により、消防団活動環境の向上及び地域防災力の強化が図られた。

1 消防費 4 消防施設費

[担当：消防本部 警防課] P.365

2201 消防施設の整備に要する経費 31,967,200 円 (29,555,530 円)

[地方債 30,400,000 円 一財 1,567,200 円]

* 特財内訳

[市債：消防防災設備整備事業債 31,967,200 円 $\times 1/2 \times 100\% \doteq 16,000,000$ 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(31,967,200 円 - 16,000,000 円) $\times 90\% \doteq 14,400,000$ 円]

○ 目的

消防ポンプ自動車を更新し、消防体制の充実強化を図る。

○ 内容

平成4年度に戸頭消防署に配備された消防ポンプ自動車を更新した。

○ 効果

最新の装備を搭載した消防ポンプ自動車の更新により、消防体制の充実強化を図ることができた。